

① 制度の概要

駐機中の航空機への電気・冷暖房の供給について、従来の**航空機燃料を活用したAPU**（補助動力装置）等から**再生可能エネルギー由来電力**の活用が可能な固定式GPU（地上動力装置）や移動式GPUへの切り替えを支援する制度です。空港における脱炭素化を促進し、2050年カーボンニュートラルの実現に資することを目的としています。

🔧 支援内容

□ GPU設備導入支援

- 固定式GPU（埋設式及び地上走行式）の導入
- 移動式GPU（電気式及びディーゼル式）の導入
- 再生可能エネルギー由来電力活用への切り替え

上限1.5億円

補助率：1/2以内

🎯 対象となる取組

- 航空機燃料を活用したAPU等からGPU（地上動力装置）への**切り替え事業**
- APUからGPUへの切り替えにより**50%以上のCO2排出削減**が見込まれる事業
- GPUの今後の再生可能エネルギー由来電力や**バイオ燃料活用**による脱炭素化計画を含む事業
- 国の他の補助金を受けていない設備等が対象
- 自社調達の場合は利益相当分を排除した製造原価が補助対象

👥 対象者

- **民間企業**（空港運営事業者を含む）
- **地方公共団体**
- 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人
- その他環境大臣の承認を経て財団が認める者
- 補助対象設備等をファイナンスリースにより提供する民間企業

💡 採択率向上のポイント

- **定量的効果算定**：CO2削減量の精密な計算と根拠資料の充実
- **再エネ調達計画**：**具体的な電力調達先**との契約見込み
- **事業継続性**：導入後の運用体制と維持管理計画の明確化
- **地域貢献度**：空港全体の脱炭素化への波及効果

📊 戦略的分析

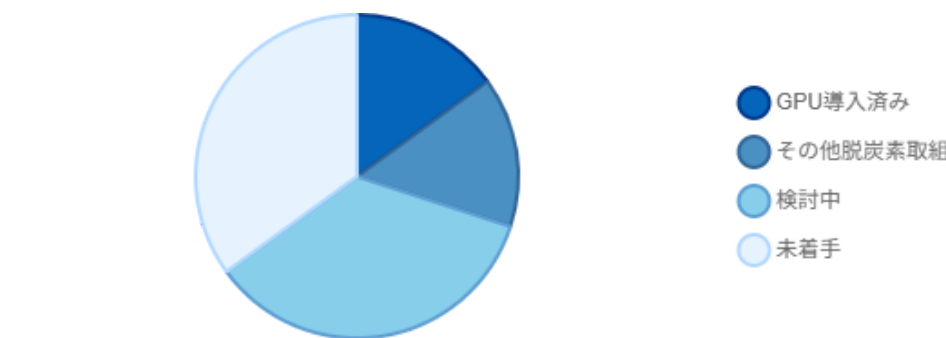
【採択のポイント】

- **明確なCO2削減効果**の算定と50%以上の削減実現
- 再エネ由来電力やバイオ燃料活用の**具体的な将来計画**
- 事業実施体制の確実性と**利害関係者との調整完了**
- 空港における**カーボンニュートラル化**への貢献度

【段階的なステップアップ戦略】

- **第1段階**：現行APUからの切り替え計画策定と効果算定
- **第2段階**：再エネ電力調達先との契約検討・協議
- **第3段階**：設備導入計画と維持管理体制の構築
- **第4段階**：将来的なバイオ燃料活用計画の策定

🌱 空港脱炭素化の推進状況



空港脱炭素化取組（2024年）：全国空港の約30%が何らかの脱炭素化に着手
GPU導入効果：従来比50-70%のCO2削減効果を実現

💡 導入設備と効果

設備種別	主な機能・効果
固定式GPU（埋設式）	地下埋設による省スペース化、高い安定性
固定式GPU（地上走行式）	移設可能性、メンテナンス性の向上
移動式GPU（電気式）	再エネ電力直接活用、排出ガスゼロ
移動式GPU（ディーゼル式）	バイオ燃料対応、従来比大幅CO2削減
付帯設備	電力ケーブル、冷暖房用ダクト・ホース

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/4作成】

提出書類	チェックポイント
応募申請書（様式1）	□ 事業概要の明確な記載 □ CO2削減効果の定量的算定
実施計画書（様式2）	□ 詳細な導入スケジュール □ 再エネ活用の具体的計画
経費内訳（様式3）	□ 工事費・設備費の詳細内訳 □ 自社調達分の利益排除
ハード対策事業計算ファイル	□ 環境省指定フォーマット使用 □ 削減効果の適切な算定

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
設備選定・見積取得に2〜3ヶ月程度。再エネ電力調達先との協議も並行実施。
- 公募期間**
2025年5月30日（金）～10月17日（金）18時
jGrantsまたは電子メール申請。月単位で審査・採択。
- 審査・採択**
月単位で随時実施（予算上限まで）
- 交付決定**
採択後、交付決定通知
- 事業完了**
2026年2月27日（金）まで
実績報告書の提出必須

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.heco-hojo.jp/yR07/portgpu/competition.html
申請システム (jGrants)	https://www.jgrants-portal.go.jp/
お問い合わせ	公益財団法人北海道環境財団 補助事業部 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお願いいたします。

📝 Memo